学校番号	123

平成 31 年度　情報科

教科	情報	科目	社会と情報	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高等学校　改訂版　社会と情報　（第一学習社）						
副教材等	Windoes10 対応３０時間でマスターOffice2016（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・LAN 教室での実習を通してコンピュータやネットワークについて学び、日常使っているコンピュータに対しての理解を深めるとともにスキルアップをめざします。
・コンピュータやネットワークを利用したコミュニケーションについて，グループワークや演習を通して多様な考え方を学び、またプレゼン等で発表も行います。

2　学習の到達目標

・情報の収集・処理・発信などの情報活用能力を身につける。
・情報の収集・発信における問題点を理解し、それをふまえて適切な情報発信ができるようになる。
・情報を主体的に活用し、情報社会に主体的に参加する態度を身につける。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	情報や情報社会に関心をもち、身のまわりの問題を解決するために自ら進んで情報及び情報技術を活用し、社会の情報化の進展に主体的に対応しようとする。	情報や情報社会における身のまわりの問題を解決するために、情報に関する科学的な見方や考え方を活かすとともに情報モラルを踏まえて、思考を深め、適切に判断し表現している。	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な技能を身に付け、目的に応じてそれらを適切に扱っている。	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な知識を身に付け、社会におけるそれらの意義や役割を理解している。
評価方法	学習状況の観察 実習作品・発表 相互評価 自己評価	学習状況の観察 実習作品・発表	学習状況の観察 実習作品・発表 実技テストの結果	学習状況の観察 ワークシートの記述 定期考査の結果
上に示す観点に基づいて，学習のまとまりごとに評価し，学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し，評価します。				

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	情報通信ネットワークとコミュニケーション	○情報とその活用 ・情報の受信者として ・情報の発信者として ○コミュニケーションと情報モラル ○他人を傷つけないために ○情報社会の法と個人の責任	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a:情報かるた作りに主体的に取組む。 b:「情報かるた」の絵を見て、どのような発信者の意図が含まれているかを考えることができる。クラスの情報モラルの目標を立てることができる。 他人の権利への配慮が必要なことを理解している。 c:グループワークで収集した情報を伝達に適した形に表現できる。 d:情報モラルが重要であることを理解する。	授業観察 実習態度 グループワーク プリント
	情報社会のしくみと安全性	○情報セキュリティとは ○さまざまなセキュリティ侵害 ○情報化の課題 ○情報化が生み出した新たな犯罪	○ ○ ○ ○	○	○	○ ○ ○ ○	a: 自分が使っているコンピュータのセキュリティに関心をもつ。 b: 情報セキュリティの意味について考えることができる。情報セキュリティの脅威とそれに対する対策を考えることができる。 c:パスワードを考え、作成し、覚えることができる。情報セキュリティを理解し、対策を実践できる。 d: 推測されにくいパスワードが、情報の安全性に効果があることを理解している。	授業観察 実習態度 グループワーク プリント

1学期	総合実習	○ワードプロセッサを使おう。 ・情報発信のプロセス テーマ 「わたしのおすすめ」	○	○	○	○	a: 情報収集や資料作成に積極的に参加する。 b:自分が意図したいものを適切に表現できているか考える。 c:文書作成ソフトウェアを使い、印刷用資料を作成できる。 d:自分でまとめた内容を文書にすることで情報発信ができることを理解する。	授業観察 実習態度 タイピングテスト 制作課題 定期考査
2学期	総合実習	○プレゼンテーション① ・アウトライン原稿を書く ・スライド作成の実習 ・プレゼンソフトの操作	○	○	○	○	a:実習に積極的に取組む。情報を伝えることに関心を持つ。 b:考えを相手に伝えるために、どのように表現すればよいか思考を深める。 c:わかりやすい、見やすい資料を作成できるようになる。 d:原稿とスライドの関係を理解する。	授業観察 実習態度 制作課題 定期考査
		○表計算ソフトウェアを使おう。 ・式の入力と表作成 ・関数の利用 ・いろいろなグラフ	○	○	○	○	a:表やグラフの表現に関心を持つ。主体的に課題に取組む。 b:適切なグラフの形式を選択できる。式や関数を考え、利用し、求めたい答えを表現できる。 c:表計算ソフトを使って、表やグラフを作成できる。 d:表計算ソフトの使い方を理解する。	

3学期	問題とその解決	○プレゼンテーション② （総合学習） テーマ 「身の周りの情報モラル」 ・問題解決の手順 ・問題の定義 ・情報検索と収集、分析 ・発表用資料作成 ・問題解決の評価と改善	○	○	○	○	a:情報収集や討議に積極的に参加する。 b: プレゼンテーションの構成を考えられる。 c:プレゼンテーションを行う。 発表用スライドを作成できる。 d:スライドにまとめて情報発信が行えることを理解する。	授業観察 グループワーク 実習態度 発表 自己評価 相互評価

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。